

第1号議案

令和6年度事業報告及び収支決算について

1 令和6年度事業報告について

第41事業年度（自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日）

当財団は、中小企業の総合的支援機関として、新産業創出や経営革新への支援、産業技術の高度化や科学技術の振興、産学官の共同研究開発への支援などに取り組んでいる。

令和6年度も、スタートアップへの支援として、引き続き経営相談窓口における創業前から起業家の成長段階に応じた専門家による相談対応や、かがわ創業塾などを実施するとともに、新たに新かがわ中小企業応援ファンド等事業において中長期の商品開発を支援する助成制度を設けたほか、国内外への販路開拓支援を拡充した。

また、香川産業頭脳化センタービル1階への知財総合支援窓口など知的財産支援部の移転や相談室の設置、RIST かがわの企業入居施設への転用による県内企業の利便性向上とともに財団施設の効果的な活用を行った。

※各事業右記載の金額は、経常費用の額である。

公益目的事業

I 新産業の創出や地域産業の革新、地域企業の経営基盤強化のための相談・指導、情報提供、助成及び資金貸付等の事業

決算額

1 新事業創出等支援事業（県補他）

10,821千円

県内中小企業等の新事業の創出や経営革新などを積極的に推進するため、各産業支援機関と連携を取りながら、研究開発から事業化、販路開拓に至るまでの総合的な支援を実施した。

事業名	内容	相談件数
スタートアップ等 経営相談窓口事業	「スタートアップ等経営相談窓口」として、創業前から創業後のサポートまで、専門家による起業家の成長段階に応じたきめ細かな相談対応を実施するとともに、地域の支援機関と連携を図るため、産業支援機関連絡会議を開催（令和6年5月21日）するなど、総合経営相談窓口の体制充実を図った。 また、「認定支援機関」として、ものづくり中小企業・小規模事業者等の補助金申請に係る事業計画書作成等を支援した。	888件

2 新規創業・創業後支援事業（県補）

720 千円

【創業支援塾事業】

県内での創業を目指す者を対象に、創業に当たっての実務ポイントを一体的かつ体系的に学習ができ、かつ具体的なビジネスプランが策定できるよう、実践的な創業支援塾を開講することにより、創業の促進を図った。

○かがわ創業塾

開催日時	受講者数
令和6年8月2日～9月6日 (全5回) 13時～17時	30名（うち全課程修了者26名）

3 起業等スタートアップ支援事業（県補）

13,582 千円

県内での社会的事業における効果的な起業等を促進し、地域の諸課題の解決を通じた地域活力の向上を図ることを目的に、デジタル技術を活用し、県内で起業等を行う者に対して、その起業等に要する経費の一部を補助した。

類型	対象事業	補助金上限額	申請／採択件数
地域課題解決型	地域活性化関連、子育て支援、健康関連、買物弱者支援、まちづくりの推進などの社会的事業分野で、デジタル技術を活用し、地域の課題の解決に資する事業	200 万円 (補助率 1/2 以内)	35 件／10 件

4 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（よろず支援拠点）（国委）

87,894 千円

県内中小企業等への支援体制を強化するため、「香川県よろず支援拠点」に、チーフコーディネーター1名とサブチーフコーディネーター2名、コーディネーター16名を配置し、他の支援機関とも連携しつつ、総合的・先進的経営アドバイス、個別事案に最適な支援チームの編成などによる中小企業支援事業を国から委託を受け実施した。

また、県内中小企業等の経営者等を対象に、セミナーを開催した。

- 相談対応件数 令和6年度 5,972 件（令和5年度 7,011 件）
- よろずセミナー実施回数 令和6年度 32 回（令和5年度 45 回）

5 中小企業デジタル化推進支援事業（県補）

3,906 千円

県内中小企業等の事業や事務の効率化、生産性の向上を目的として、デジタル技術やクラウドツールの導入を希望する県内中小企業等に対し、IT 専門家（IT コーディネーター）を派遣、個別コンサルティングを実施し、導入計画の策定等の個別相談をするとともに、デジタル化の先進事例を紹介するセミナーや個別コンサルティングの成果報告会を開催し、効果的な取組み事例等の横展開を図った。

○ デジタル化の先進事例を紹介するセミナー

	開催日	テーマ	受講者数
第 1 回	令和 6 年 7 月 25 日	デジタル技術活用事例セミナー ～デジタルを経営に活かす～ 武州工業株式会社 相談役 林 英夫 氏	62 名
第 2 回	令和 6 年 10 月 10 日	クラウドツール活用セミナー ～kintone による見える化と社内活性化～ 株式会社乗富鉄工所 代表取締役 乗富 賢蔵 氏	61 名

○ 個別コンサルティング

計 15 社へ IT 専門家（IT コーディネーター）を派遣、個別相談を実施し、県内中小企業等のデジタル化に関する様々な課題解決を支援するとともに成果報告会を開催した。

	開催日	テーマ	参加者数
成果報告会	令和 7 年 2 月 21 日	デジタル化活動発表会	68 名

6 農業の6次産業化等促進事業（県委）

2,336 千円

県から委託を受け、かがわ農山漁村発イノベーションサポートセンターを設置し、経営改善に意欲的な農山漁村発イノベーションに取り組む事業者等に対して、委嘱する地域プランナー等を派遣することにより、経営改善に取り組む上での様々な課題の解決のために迅速かつ弾力的に支援を行った。

（１）かがわ農山漁村発イノベーションサポートセンターの設置

（２）地域プランナーの委嘱 6 名

（３）経営改善に向けた支援対象者数 5 事業者

支援対象者	所在地	支援内容
株式会社キョーワ	三豊市	「釜揚げいりこ」の販路拡大
島ヶ峰の原風景を守る会	仲多度郡まんのう町	「そば」の栽培と加工による地域活性化
株式会社ソルトレイクひけた	東かがわ市	三倍体牡蠣の販路開拓
有限会社 YAMATO	三豊市	自社生産した農産物（ニンニク）を活用した加工品開発
社会福祉法人ラーフ	観音寺市	地域食材（いりこ）を活用した「まぜご飯の素」の開発と販売

（４）農山漁村発イノベーション都道府県サポート事業電話等相談

相談件数 306 件

（５）人材育成研修会の開催状況

○ 参加事業者：延べ 48 名

○ 参集範囲：農林漁業者、食品製造業者、金融機関、商工会、行政等

	開催日	開催場所	テーマ	講師	受講者数
第 1 回	令和 6 年 8 月 27 日	香川産業頭 脳化センタ ービル 1 階 専門 研修室	機能性表示 食品等開発 の取組につ いて	公益財団法人かがわ産業支援財団 事業化支援アドバイザー 関谷 敬三 氏	16 名
第 2 回	令和 6 年 9 月 10 日	香川産業頭 脳化センタ ービル 1 階 専門 研修室	地域活性化 で経営が成 り立つ優良 事例につ いて	特定非営利活動法人 DREAM ISLAND 理事長 立花 律子 氏	17 名
第 3 回	令和 6 年 10 月 1 日	香川産業頭 脳化センタ ービル 1 階 専門 研修室	SNS を活 用した E コ マースの取 組について	かがわ農山漁村発イノベーション サポートセンター 地域プランナー 豊田 浩伸 氏	15 名

7 知財総合支援窓口運営事業（国委）

27,978 千円

「知財総合支援窓口」を設置し、中小企業等が抱える知的財産に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うとともに、中小企業等が企業経営の中でノウハウも含めた知的財産活動についてアイデア段階から事業展開まで一貫した支援を行ったほか、知的財産セミナー等の開催や企業訪問などにより知的財産の重要性等の普及啓発を行った。

（１）相談支援実績

項目	実績
支援件数	2,144 件
うち新規件数	133 件
周知件数	375 件
連携件数	154 件
関係機関と連携した臨時窓口回数	80 回

（２）知的財産セミナーの開催状況

① 海外展開支援セミナー

開催日	開催場所	主催	テーマ	講師	受講者数
令和 6 年 10 月 18 日	香川産業頭 脳化センタ ービル 2 階 一般研修室	ジェトロ香川 香川県 かがわ産業支援財団 香川県知財総合支援窓口	海外展開で忘 れてはならな い知的財産～ 活用とリスク 対策のポイン ト～	INPIT 知財戦略 エキスパート 能川 勝男 氏	12 名

② 窓口知財セミナー ビジネスに役立つ知財塾

開催日	開催場所	テーマ	講師	受講者数
令和 7 年 2 月 4 日	香川産業頭 脳化センタ ービル 2 階 一般研修室	こしの強い知財で差をつけよう！～スタートアップの知財入門～	INPIT 知財戦略エキスパート 安藤 治孝 氏	8 名
令和 7 年 2 月 17 日		知っておこう！事業を守り、成長を支える知的財産権の概要	洲崎国際特許事務所 弁理士 洲崎 竜弥 氏	12 名
令和 7 年 2 月 25 日		これだけは押さえておきたい！サービス業と知的財産権のかかわり	弁理士法人エルア商標意匠事務所 代表社員弁理士 松本 尚子 氏	10 名

8 知的財産活性化事業（県補）

8,177 千円

県内企業等の知的財産の創造・保護を促進するため、「香川県知的所有権センター」を設置・運営し、配置した知的財産権の活用を図る特許流通コーディネーターが、知的財産に関する情報収集・提供を行うとともに、知的財産の活用を促進するため、県内企業等への相談や訪問相談を行った。

項目	内容	実績
来訪者相談件数	特許流通に関する相談件数	275 件
訪問企業数	特許流通のために訪問した企業数	169 社

9 知的財産活用促進事業（県補）

6,023 千円

県内企業等の知的財産の活用による競争力強化を促進するため、「香川県知的所有権センター」が、知的財産を活用した経営や新たな事業展開に取り組む県内企業等の経営者等を対象に、日本弁理士会と連携して、「かがわ知財経営塾」を3回開催するなど、きめ細かな支援を行うとともに、大企業等が保有する開放特許の活用を通じて、県内企業の新商品開発や新たな事業展開を促進するため、「知財マッチング in かがわ 2024」を開催し、大企業等と県内企業との知財マッチングの機会を提供した。

（1）かがわ知財経営塾

	開催日	開催場所	テーマ	講師	受講者数
第1回	令和6年 9月19日	香川産業頭 脳化センタ ービル2階 一般研修室	知的財産活用でビジネス拡大を！－自社技術の進歩性、類否判断等のために知っておくべきポイントと最近の知財関係法等の動向	松島国際特許事務所 松島 理 氏	19 名
第2回	令和6年 9月26日		さあどうする！自社製品に知的財産権侵害の警告を受けたら－知財侵害判断と対応策、そうならないための注意点	弁理士法人山内特許事務所 山内 康伸 氏	14 名
第3回	令和6年 10月10日		知財のオープン・クローズ戦略と知財維持管理－開放特許の活用と契約等注意すべき盲点	松島国際特許事務所 松島 理 氏	17 名

（2）知財マッチング

知財マッチング in かがわ 2024	開催日：令和6年11月21日～12月20日（期間外も随時実施） 開催場所：香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室 他 開催方法：個別面談及びWeb面談 面談企業・件数：大企業等8社、県内企業11社 面談件数52件
------------------------	---

10 海外出願支援事業（国補）

6,100 千円

中小企業等における戦略的な外国への特許出願等を促進するため、県内中小企業等を対象に、令和6年5月～11月の間に3回募集し、5社、9件（特許3件、商標6件）に対して、外国への特許出願等に要する費用の一部を助成した。

11 プロフェッショナル人材戦略拠点事業（県委）

31,206 千円

県から委託を受け、プロフェッショナル人材（新たな商品、サービスの開発等、企業の成長戦略を具現化していく人材）の地方還流を促すために設置した「プロフェッショナル人材戦略拠点」において、戦略マネージャー1名と複数のサブマネージャー及びアシスタントを配置し、地域の金融機関等と連携しつつ、県内中堅・中小企業等におけるプロフェッショナル人材のニーズを把握し、企業の成長戦略を支援した。また、副業・兼業等の多様な人材の活用促進に取り組むとともに、啓発セミナーの開催等を行った。

○ プロフェッショナル人材成約件数 178 件(令和5年度成約件数 121 件)

12 経済研究情報事業（県補他）

11,008 千円

インターネットや情報誌等を活用した産業情報の提供を行ったほか、県内中小企業等の情報化を支援するための情報化相談事業、人材育成のための新入社員研修・若手社員ステップアップ研修を実施した。

（1）経済研究情報提供事業

県内企業等の経営資源の充実を図るため、経営・産業関連情報の収集を行い、財団の支援施策の情報と併せて、ホームページ、Facebook、メールマガジン、情報誌等を活用し、タイムリーで効果的な情報発信を行った。また、財団ネットワーク環境を適切に維持管理するとともに、サイバー保険への加入や、情報セキュリティ対策アドバイザーの委嘱等、セキュリティ強化の対策を行った。

情報提供媒体等	回数
財団ホームページ、Facebook、メールマガジンによる情報発信	常時
情報誌「かがわ産業情報 21」の発行	4 回
ビジネス香川（かがわのエンジン・BKラジオ）による財団支援内容の紹介	かがわのエンジン：4 回 BKラジオ：20 秒CM/年 60 回

（2）情報化基盤整備促進事業

県内中小企業等の情報化に向けた取組みを支援するため、情報化に関する相談事業を実施した。

内容	件数
情報化相談事業	26 件

(3) 講習会開催事業

県内企業等の人材育成を支援するため、新入社員研修及び若手社員ステップアップ研修を実施した。

講習会名	開催日	参加人数
新入社員研修	令和6年4月2日～3日	72名
若手社員ステップアップ研修	令和6年7月1日	19名

13 中小企業後継者育成事業

2,586 千円

県内中小企業の経営者や後継者の育成を目的に、中小企業大学校が実施する各種研修や香川大学大学院地域マネジメント研究科に派遣する際に必要な経費の一部を助成した。

区分	件数	金額
中小企業大学校派遣研修事業	19 件	909 千円
香川大学大学院地域マネジメント研究科派遣研修事業	3 件	803 千円

14 国助成設備貸与債権管理事業

13,086 千円

過年度貸与（割賦販売及びリース）の回収業務等を行った。

Ⅱ 産業技術の高度化及び科学技術の振興のための支援事業

1 高度技術開発振興事業

10,750 千円

(1) 研修会等開催支援事業

県内産業の技術の高度化を図るため、学術研究支援や人材・能力育成支援を実施した。
学会助成については、4 件（国内学会）の申請があり、学会開催に要する経費を助成した。

また、科学体験フェスティバルは分担金の拠出や当日の運営支援により、開催を支援した。

区分	開催回数	参加者数
学術研究会の開催支援 ・香川大学農学部 （日本農芸化学会中四国支部第 68 回講演会（例会）） ・香川大学農学部 （酵母遺伝学フォーラム 第 57 回研究報告会） ・香川大学医学部 （第 37 回 日本保健福祉学会学術集会） ・一般社団法人日本応用地質学会 （日本応用地質学会 令和 6 年度 研究発表会）	4 回	858 名
第 32 回かがわけん科学体験フェスティバル （主催：かがわけん科学体験フェスティバル実行委員会等）	1 回	2,538 名

※学術研究会の参加者数には、オンラインによる参加者を含む。

(2) 商品化技術テーマ調査事業

県内企業等が、商品化のための技術テーマを大学・公設試等と連携して調査・開発するために必要な調査研究費等を助成した。

令和 6 年度採択分【新規 4 件、助成額 4,000 千円】

事業者	テーマ	大学・公設試等
株式会社穴吹ハウジングサービス	土壌改良材「日南バイオリソイル」商品化に向けた作物栽培への利用に関する研究開発	香川大学農学部
合同会社 Spectro Eval.	中赤外パッシブ分光イメージング技術を活用したインフラの劣化検知システムの構築	香川大学創造工学部
盛田株式会社	香りに特長のある天然醸造木桶醤油の開発	香川県産業技術センター
山田鑄造鉄工株式会社	医療用革新的切開切断器具の研究開発	香川大学医学部

(令和 5 年度採択分 3 件、1,821 千円)

(3) 芦原研究支援事業

本県出身の故芦原義重氏（関西電力株式会社名誉会長、香川県名誉県民）からの寄附金による基金を活用して創設した芦原科学賞により、県内産業の技術の高度化及び産業振興に寄与するため、自然科学系分野において優秀な研究成果をあげた研究グループや個人の顕彰（大賞、功労賞）並びに優秀な成果をあげることが期待できる研究グループや個人の顕彰（奨励賞）を行った。

区分		内容等
第32回 芦原科学賞	大賞 (賞状・楯・賞金 200万円)	受賞者：株式会社レクザム 高嶋 俊治 氏、島 大輔 氏、鎌野 正義 氏、 小川 知宏 氏 テーマ：高精度で多機能なオートレンズメータ「DLシリーズ」の開発
	功労賞 (賞状・楯・賞金 100万円)	受賞者：三菱電機株式会社 受配電システム製作所 仲田 知裕 氏、佐々木 央 氏、上松 航星 氏、 前田 大輝 氏、松村 康平 氏 三菱電機エンジニアリング株式会社 鳥羽 慎司 氏、田中 翔 氏 テーマ：世界最速を実現した気中直流高速度遮断器の開発
	奨励賞 (賞状・楯・賞金 50万円)	受賞者：プロテノバ株式会社 タンパク質高機能化グループ 真島 英司 氏、島 厚志 氏、原 優子 氏、 松濤 良美 氏 テーマ：次世代型抗体医薬製造用の高機能性抗体結合タンパク質の開発

(4) 地域技術事業化推進事業

地域を担う人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師による講座を香川大学大学院地域マネジメント研究科（MBA）に提供した。

名称	内容等
提供講座 「地域の中小企業と 経済活性化」	○開催日時 令和6年10月8日～令和7年2月7日 18時20分～19時50分（毎週火曜日、全15回） ○開催場所 香川大学幸町南キャンパス 又信記念館1階特別講義室等 ○開催内容 提供講座の開設（中小企業経営者等による全15回の講義） ○参加者数 学生、一般聴講者等合わせ延べ528名が参加

2 債務保証債権管理事業等

1千円

研究開発型企業が新技術・新製品の開発及び事業化を行うに際し必要とする資金の円滑な借入を支援するため、無担保の債務保証を行う事業であり、平成28年度までの債務保証事業において代位弁済を執行した案件で、求償権を有する案件2件の継続管理を行った。

3 科学技術振興事業（国補）

156,755 千円

【成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）】

特定ものづくり基盤技術（バイオ、情報処理、精密加工、機械制御等 12 分野）及び I o T、A I 等の先端技術を活用した高度なサービスに関する研究開発や試作品開発等の取組みを支援するため、事業管理機関として令和 4 年度採択事業 1 件、令和 5 年度第 1 回公募採択事業 1 件、第 2 回公募採択事業 1 件、令和 6 年度採択事業 2 件について、経済産業省から補助金を受けて進捗管理等を行った。

○令和 4 年度第 2 回公募採択事業（研究開発 3 年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	助成金額
海底・地中電力ケーブル牽引用の低摩耗型複合スーパー繊維ロープの開発	令和 4 年 11 月～ 令和 7 年 3 月	高木綱業株式会社 香川県産業技術 センター	24,000 千円 (令和 6 年度分)

○令和 5 年度第 1 回公募採択事業（研究開発 2 年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	助成金額
脳波とバイタルサインの無線同期計測により脳波活用を革新するウェアラブル脳波計測技術の開発	令和 5 年 8 月～ 令和 7 年 3 月	株式会社レクザム P G V 株式会社 大阪大学	34,000 千円 (令和 6 年度分)

○令和 5 年度第 2 回公募採択事業（研究開発 2 年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	助成金額
ギ酸を水素キャリアとした革新的高圧水素及び液化炭酸ガス連続供給技術の開発	令和 5 年 10 月～ 令和 8 年 3 月	高松帝酸株式会社 産業技術総合研究 所	34,000 千円 (令和 6 年度分)

○令和 6 年度採択事業（研究開発 1 年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	助成金額
カーボンニュートラルで耐久性が高い工業用ゴムホースの実用化技術の開発	令和 6 年 8 月～ 令和 9 年 3 月	大同ゴム株式会社 信州大学	25,000 千円 (令和 6 年度分)
がんの早期発見を可能にする血中 miRNA を用いた qP C R 検査によるがん検診技術の開発	令和 6 年 8 月～ 令和 9 年 3 月	合同会社 Setolabo 香川大学	32,000 千円 (令和 6 年度分)

4 地域共同研究開発事業（県補他）

38,982 千円

県内企業等と連携して、研究開発事業（県内産業育成支援のための調査研究、企業訪問等による技術指導、機関誌等による研究成果等の情報提供）に取り組んだ。

また、県内の食品産業を支援するため「かがわ機能性食品等開発研究会」及び「かがわ冷凍食品研究フォーラム」によるシンポジウムを開催するとともに、財団に設置している新機能性表示食品開発相談センターによる機能性表示食品制度に関する指導・相談及び届出支援を実施した。

（１）研究開発事業

① 企業支援研究事業

令和５年度末まで RIST かがわの研究施設を活用して、食の安全・安心、環境保全、C N F、電池電極など社会的課題・ニーズを踏まえたテーマを中心に、共同開発研究、開発可能性調査研究等を行ってきた。

しかし、令和５年１２月に香川県知事から RIST かがわの企業入居施設への用途変更について要請があり、令和６年度から県内における創業、ベンチャー育成及び産業の高度化等を支援していく企業入居施設に転用したため、企業支援研究事業は廃止となった。

② 調査研究事業

県内産業育成支援のため、RIST かがわが保有する技術を活用した調査研究を実施した。

事業名		内容・結果
超臨界流体 技術応用研究	１ 超臨界技術によるプラスチック材料への機能性付与に関する研究（Ⅵ） －実機を用いたサンプルの金型成形と物性評価－	超臨界炭酸ガス処理により得られたアセチル化CMFのプラスチックへの利用をめざしている。 今年度は実機を用いて、セルロース粉末51%混合した強度試験用試験片（P E、P P）、セルロース粉末15%混合したウチワの骨（P P）を金型成形できた。 セルロース粉末51%混合した複合材料（P E、P P）は、アセチル化の有無による強度やばらつき之差がほとんどみられなかった。
	２ 加圧熱水反応・抽出による食品成分の抽出利用技術に関する研究（Ⅲ） －加圧熱水処理残渣の農業利用の検討－	オリーブ果実圧搾滓の加圧熱水処理による抗酸化性物質の抽出回収及び処理残渣の利用によるアップサイクルモデルの確立をめざしている。 今年度は加圧熱水処理残渣の農業利用を検討し、コマツナの育成試験を行ったところ、処理残渣の混合率を１％以下にすると、化学肥料区と同等レベルに育成することが分かった。 昨年度までの研究成果及び加圧熱水処理残渣を用いた製品化の可能性が示唆され、オリーブ果実圧搾滓のアップサイクルモデルを確立することができた。

マイクロ波 (MW) 技術 応用研究	1 MW照射処理による アスパラガス機能性成分 富化技術の開発	アスパラガスには機能性成分としてGABAが多く含まれているが、現在、アスパラガス基部が利用されないまま廃棄されている。本研究では、MW加熱処理を用いてGABAを富化させ、未利用部位の有効活用をめざしている。 基部に各種MW熱風加熱を行ったところ、熱風加熱に比べてより短時間で高いGABA含量が得られる条件を見出すことができた。
	2 MW照射処理による オリーブ果実圧搾滓乾燥 処理技術の開発	高効率で省エネが期待できるMW乾燥技術を活用したオリーブ果実圧搾滓の乾燥処理を行うことにより、圧搾滓のポリフェノール成分の保存性を高める方法の開発をめざしている。 各種MW乾燥処理により、水分活性値0.2～0.4のものが得られ、熱風乾燥に比べて高い総ポリフェノール量、ヒドロキシチロソールが得られた。また、MW乾燥処理後、100日間の保存試験を行ったところ、各成分が保存されて残っていることが確認できた。

③ 産業財産権

令和6年度の新たな特許出願はなく、登録特許は5件となった。

これまでの特許出願等の状況は次のとおりである。

①出願件数	②特許登録数	③権利放棄数	登録特許保有数(②-③)
104 (0)	40 件 (0)	35 件 (0)	5 件

※ () 内は令和6年度の件数

④ 研究成果の情報提供

ア 部外発表 3件

発表会	発表日	場 所	発表者
令和6年度香川県産業技術 センター研究成果報告会	令和6年6月18日	香川県産業技術 センター	中西主席研究員
化学工学会超臨界流体部会 第23回サマースクール	令和6年9月18日	化学工学会	中西主席研究員
令和6年度低温乾燥農産食 品研究会	令和6年12月11日	香川大学農学部	中西主席研究員

イ 化学工学会誌への論文投稿 (査読中) 1件 (中西主席研究員)

中西 勉, “加圧熱水処理によるオリーブ果実圧搾滓からの有用成分の抽出”

ウ 研究報告等の発行

令和5年度地域共同研究部年報 (令和6年6月30日)

(2) 機能性食品開発支援事業

① かがわ機能性食品等開発研究会による支援

かがわ機能性食品等開発研究会の事業として、第 12 回シンポジウムを開催し、機能性食品等に係る県内企業等の研究開発や商品開発の取組みを支援した。

区分	内容等
かがわ機能性食品等開発研究会 第 12 回シンポジウム	【日 時】 令和 6 年 9 月 25 日 13 時 30 分～16 時 00 分 【場 所】 ネクスト香川 3 階 大会議室 【参加者】 37 名 講 演 【演 題】 機能性表示食品のこれまでとこれから 【講 師】 公益財団法人日本健康・栄養食品協会 機能性食品部 室賀 翔太 氏 事例発表 1 【演 題】 機能性食品「GABA配合塩ゆで黒豆」の開発について 【発表者】 丸金食品株式会社 生産部 部長 中野 浩二 氏 事例発表 2 【演 題】 アルロースを使った機能性ドーナツについて 【発表者】 株式会社ルーヴ 代表取締役 野崎 幸三 氏 情報提供 【演 題】 香川県産業技術センターの機能性表示食品開発支援 【発表者】 香川県産業技術センター 食品研究所 主任研究員 松岡 博美 氏

② 機能性表示食品届出支援

平成 27 年 6 月に設置した新機能性表示食品開発相談センターでは、消費者庁への機能性表示食品届出について、令和 5 年度では届出書類作成等支援業務を 4 社 4 件受託し、4 件が届け出完了である。また、機能性表示食品開発・届出に関する相談業務（令和 6 年度相談件数：164 件）も行っている。

令和 6 年度は届出書類作成等支援業務の契約を 1 件（1 社）受託し、現在支援中である。

これにより、県内企業の届出完了数は今回の届出を含めて 61 件となり、うち 35 件は当財団が支援した。

(3) 冷凍食品産業支援事業

かがわ冷凍食品研究フォーラムの事業として、第12回シンポジウムを開催し、県内の冷凍食品を製造する企業等の研究開発や商品開発の取組みを支援した。

区分	内容等
かがわ冷凍食品 研究フォーラム 第12回シンポジ ウム	【日 時】令和6年11月22日 13時30分～16時00分 【場 所】ネクスト香川 3階 大会議室 【参加者】44名 講 演 【演 題】冷凍食品産業の現状と課題 【講 師】一般社団法人日本冷凍食品協会 顧問（前専務理事） 木村 均 氏 事例発表1 【演 題】香川県瀬戸内海伊吹島周辺の魚の商品開発について 【発表者】共栄冷凍水産株式会社 代表取締役 藤村 昭夫 氏 事例発表2 【演 題】食品製造業向けの機能性調味料について 【発表者】日本食研株式会社 メーカー開発グループ専任課長 矢野 浩之 氏

(4) 商品化・事業化促進事業

研究開発・技術開発終了後、実用化の段階にある県内企業等に対して、研究者による技術移転とともに、食品加工の専門家によるサポートを実施した。

5 新技術啓発事業（県補）

1,265 千円

世界的な水準にある希少糖研究等の先端技術分野における優れた研究成果やノウハウ等を活かし、県内企業等の成長分野等への積極的な進出を促進するため、各種フォーラムの管理運営を行った。

（１）糖質バイオ事業化支援事業

産学官連携アドバイザー１名を配置し、香川県希少糖等共創推進会議の委員及び食品・健康部会長として、希少糖事業の調整とともに、かがわ糖質バイオフォーラムの運営の指導・助言を行った。

（２）かがわ糖質バイオフォーラム運営支援事業

糖質バイオ分野における研究成果の情報発信や研究者のネットワークの形成等を図るため、かがわ糖質バイオフォーラムを運営し、第 16 回シンポジウムの開催や情報提供等を行った。

かがわ糖質バイオフォーラム

設 立：平成 20 年 12 月 1 日

会 長：香川大学名誉教授 田島 茂行 氏

会員数：法人会員 42、個人会員 18、賛助会員 9 計 69

区分	内容等
かがわ糖質バイオフォーラム 第 16 回シンポジウム	・開催日時 令和 6 年 10 月 30 日 13 時～16 時 ・開催場所 かがわ国際会議場 ・開催内容 来賓挨拶 香川県知事 池田 豊人 氏 国立大学法人香川大学長 上田 夏生 氏 第 1 部 講演 「サルコペニア予防に向けたタンパク質摂取と運動の実践」 立命館大学 スポーツ健康科学部 教授 藤田 聡 氏 交流会 ：パネル展示・コーヒーブレイク 第 2 部 講演 「コンディショニングスペシャリストからみた糖質の可能性」 桑原塾 主宰 桑原 弘樹 氏
	・参加者数 57 名

(3) 微細構造デバイス研究開発フォーラム運営支援事業

微細構造デバイス研究開発フォーラムの運営、セミナーの開催等を行った。

微細構造デバイス研究開発フォーラム

設 立：平成 17 年 4 月 1 日

会 長：香川大学創造工学部 教授、

微細構造デバイス統合研究センター長 高尾 英邦 氏

会員数：法人会員 19、個人会員 13、賛助会員 4 計 36

区分	内容等
微細構造デバイス研究開発フォーラム 令和 6 年度セミナー・見学会	・開催日時 令和 7 年 1 月 29 日 13 時 30 分～16 時 50 分 ・開催場所 セミナー：香川産業頭脳化センタービル 2 階 一般研修室 (※オンラインでの同時配信を実施。) - 見学会：FROM 香川メカトロ研究室 ・開催内容 第 1 部 微細構造デバイス研究開発フォーラムセミナー 講演①「マルチモーダルセンサの開発と社会実装」 豊橋技術科学大学 次世代半導体・センサ科学研究所 所長・教授 澤田 和明 氏 講演②「美容家電の開発について ～新しいセンシングデバイスへの期待～」 パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社 ビューティ・パーソナルケア事業部 ビューティ商品部 ヘアケア技術開発課 課長 松井 康訓 氏 第 2 部 微細構造デバイス研究開発設備 (FROM 香川メカトロ研究室) 見学会 ・参加者数 第 1 部セミナー 56 名 (会場参加者 36 名、オンライン参加者 20 名)、第 2 部見学会 16 名

(4) 医療・ヘルスケア産業関連情報提供事業

旧かがわ健康関連製品フォーラム会員企業等に対し、メールマガジンを活用した医療・ヘルスケア産業関連の情報提供を行った。

Ⅲ 下請中小企業の振興のための事業

1 下請企業振興対策事業（県補他）

21,716 千円

事業名	内容等	件数等
受発注情報等収集提供事業	【下請取引のあっせん】 受発注取引を希望する登録企業の取引あっせんを行った。	279 件
	【取引情報の収集提供】 専門調査員等が登録企業を訪問し、受発注情報や企業情報等の収集・提供を行った。	310 件
	【発注開拓促進会議の開催】 下請企業が必要とする発注情報を収集し、受注の安定を図るための情報交換会を開催した。 開催日 令和 7 年 3 月 12 日 開催場所 香川産業頭脳化センタービル 1 階 第 1 会議室	1 回
下請かけこみ寺事業	公益財団法人全国中小企業振興機関協会の実施する「下請かけこみ寺事業」の地域拠点として、下請取引に関する様々な相談に対応した（弁護士無料相談含む）。	47 件
商談会等開催事業	【広域商談会の開催】 ① 四国 4 県合同で広域商談会を開催した。 ・「四国モノづくり合同商談会 2024 in EHIME（合同広域商談会）」 開催日 令和 6 年 11 月 27 日 開催場所 アイテムえひめ（愛媛県） 参加者数 発注企業 69 社 県内受注企業 39 社（4 県合計 147 社） ② 近畿・四国合同で広域商談会を開催した。 ・「令和 6 年度 関西・四国合同広域商談会」 開催日 令和 7 年 2 月 13 日・14 日 開催場所 京都パルスプラザ（京都府） 参加者数 発注企業 154 社 県内受注企業 9 社（11 府県合計 428 社）	2 回
	【個別商談会の開催】 ① 山本精工株式会社（大阪府） ・開催日 令和 6 年 6 月 5 日・6 日 ・参加者数 県内受注企業 7 社 ② 株式会社タダノ技術研究所（香川県） ・開催日 令和 6 年 7 月 1 日、7 月 5 日 ・参加者数 県内受注企業 2 社	2 回

商談会等開催事業	【大手企業との展示商談会の開催】 県内中小企業等が有する優れたものづくり技術・製品等をPRするため、県外大手メーカーに対して一堂に展示し、商談会を通じて県内中小企業等の新規取引先の開拓と受注機会の拡大を図った。 ・開催日 令和7年1月23日・24日 ・開催場所 川崎重工業株式会社 明石工場（兵庫県） ・出展者 県内企業19社、香川高等専門学校、香川県産業技術センター ・来場者数 350名	1回
	【有力な展示商談会（機械要素技術展）への共同出展支援】 「第29回機械要素技術展〔東京〕」（東京ビッグサイト）に出展し、かがわ次世代ものづくり研究会会員である県内中小企業10社による香川県ブースを出展した。 ・開催日 令和6年6月19日～21日 ・出展企業 10社	1回
	【有力な展示商談会（九州機械要素技術展）への共同出展支援】 「第2回機械要素技術展〔九州〕」（マリンメッセ福岡）に出展し、かがわ次世代ものづくり研究会会員である県内中小企業11社による香川県ブースを出展した。 ・開催日 令和6年12月11日～13日 ・出展企業 11社	1回
	【水素関連見本市出展支援】 「第17回国際二次電池展」（幕張メッセ）に出展し、県内のエネルギー関連分野企業を対象に香川県ブースとして集団展示を行った。 ・開催日 令和6年10月2日～4日 ・出展企業 5社	1回

Ⅳ 創業支援、ベンチャー企業育成、産業の高度化、産学官共同研究の推進等のための施設の管理・運営事業

1 頭脳化センター施設提供事業（県補他）

158,999 千円

香川産業頭脳化センタービルの貸室は、創業しようとする者や創業間もない者が入居できる「インキュベータールーム」及び地域産業の高度化に寄与すると認められる企業等が入居できる「リサーチルーム」からなっており、その入居については「香川産業頭脳化センタービル入居者選考委員会」において審議するなど、適切な運営に努めた。

名称	貸室数	入居状況
インキュベータールーム	39 室	7 室
リサーチルーム		27 室

※入居者によって「インキュベータールーム（創業後概ね5年以内等）」、「リサーチルーム」の区分が変わる。

2 IT関連インキュベート施設管理運営事業（県補）

6,173 千円

ITを活用し新事業に取り組む起業者（ネットベンチャー）等を支援するため、高速通信回線が整備された部屋を低料金で利用できるインキュベート施設「ITスクエア」を香川県の補助を受けて運営した。また、財団ホームページ等で入居者の事業概要等の紹介・PRに努めた。

名称	貸室数	入居状況
ITスクエア	11 室	10 室

3 産業高度化等施設提供事業（県補他）

25,663 千円

RIST かがわにおいて、県内における情報通信関連産業などの産業高度化に資する企業及びスタートアップ企業等を支援していくため、企業入居施設として、施設提供を行った。

現在、1社とすべての賃貸物件について、5年間（令和6年8月1日から令和11年7月31日まで）の賃貸借契約を締結している。

場 所	RIST かがわ 研究管理棟及び実験棟
利 用 者	情報処理サービス業及びデータセンター等の情報処理関連企業又は、本社機能を有する事務所を県内に設置する企業等
規 模	研究棟 17 室、実験棟 1 棟 計 1,509.02 m ²
利用料金	月額 1,540 円/m ² （共益費 140 円/m ² を含む 消費税等を除く）
利用期間	5 年間

4 県有施設管理運営事業（県委）

93,922 千円

県内産業の振興を図ることを目的として企業等の技術の高度化や新分野進出を支援するためのインキュベート工房や電波暗室を設けた県有施設の「香川県新規産業創出支援センター（ネクスト香川）」及び先端技術産業分野の研究開発を産学官で行うための拠点施設「香川県科学技術研究センター（FROM 香川）」について、県から指定管理者の指定を受け、管理運営を行った（指定期間は令和3年度から5年間）。

（1）ネクスト香川及びFROM 香川入居条件等

・ ネクスト香川

区分	インキュベート工房（一般型）	インキュベート工房（情報通信型）
入居者	創業又は新事業の開拓を目的として新技術等の研究開発を行う者であって、その利用を開始する時点において、次のいずれかに該当する者 ① 新たに事業を営もうとする者 ② 新たに事業を営んだ日以後5年を経過していない者 ③ 事業の多角化、事業の転換等により新たな事業の分野へ進出しようとする者 ④ 産業振興に資するものとして知事が認める者	情報処理関連事業（※）を行う者で、以下のいずれかに該当する者 ・ 創業後5年以内または新事業へ進出しようとする者 ・ 県外から香川県内に新たに拠点を設けようとする者 （※）情報処理サービス業、ソフトウェア業、映像・音声・文字情報制作業、デザイン業及びインターネット附随サービス業
規模	大（120～140 m ² クラス） 4室 小（65 m ² クラス） 6室	大（30 m ² クラス） 2室 小（15 m ² クラス） 2室
入居状況	大2室 小6室	大2室 小1室
利用料金	入居から5年まで 月額1,560円／m ² （消費税等を含む） 入居から5年経過後 月額1,870円／m ² （消費税等を含む）	月額1,560円／m ² （消費税等を含む）
入居期間	3年間（最長5年まで延長が可能） ただし知事が別に定める事業の分野に属する場合等は、最長13年まで延長可能。 （特定事業分野：地域資源や伝統技術を活用した特長のある食品・バイオ関連分野、健康関連分野、先端技術や基盤技術を活用したものづくり分野、エネルギー・環境関連分野）	3年間（最長5年まで延長が可能）

※創業者等で、要件を満たす場合は、利用料金を5年間減免することとしており、その差額については、県から補填されることになっている。

・ 研究室等 (FROM 香川)

区分	メカトロ研究室、バイオ研究室、一般研究室、産学官連携推進室		
入居者	・ 産学官共同研究を行うグループで、産学官を2以上含み、うち1以上が県内で主たる研究開発を行うもの ・ 産学官共同研究のうち、基礎研究の成果を実用化に結びつけるための研究開発を行う企業 ・ 産学官連携推進事業を行う法人		
規模	メカトロ研究室	1 室	
	バイオ研究室	1 室	
	一般研究室	5 室	(各室3分割可能)
	産学官連携推進室		
入居状況	メカトロ研究室	1 グループ	
	バイオ研究室	1 グループ	
	一般研究室	9 グループ	(15 室)
	産学官連携推進室	1 グループ	
利用料金	・ 産学官共同研究グループ	無料	
	・ 実用化研究企業月額 2,610 円/㎡ (消費税等を含む)		
	(月額 1,560 円/㎡ (消費税等を含む) に減額される場合あり)		
	・ 産学官連携推進事業を行う法人	無料	
入居期間	3 年間 (最長 5 年まで延長が可能) ただし一定の要件に該当する場合は最長 10 年まで延長可能。		

○ ネクスト香川インキュベート工房 (一般型) 入居状況 (10 室中 8 室入居)

部屋番号	入居企業名	事業概要	入居年月日
101	株式会社富士クリーン	再生可能エネルギー普及促進に係る研究開発	令和 6 年 4 月 1 日
202	日本ルースト株式会社	種鶏雛雌雄判別 A I システムの国内外サービス運用	令和 6 年 10 月 1 日
203	株式会社 Japan Fruits	フルーツの卸売及び生産者のバックオフィス業務代行システムの提供	令和 6 年 11 月 1 日
204	株式会社総合開発	水質・土壌浄化技術の研究開発	平成 29 年 7 月 1 日
205	株式会社 Soilook	赤外線カメラやドローンなどを応用したインフラ維持管理システムの開発	令和 2 年 1 月 1 日
301	自然免疫制御技術研究組合	動物実験による健康食品産業の支援	平成 29 年 2 月 1 日
303	メロディ・インターナショナル株式会社	K-MIX と連携する胎児心拍計、遠隔医療システム、健康生活アプリの開発	平成 27 年 9 月 1 日
304			

○ ネクスト香川インキュベート工房（情報通信型）入居状況（４室中３室入居）

部屋番号	入居企業名	事業概要	入居年月日
20A	株式会社ライトリンク	PC-PLC間インタフェースサーバ開発、画像処理検査システムの開発	令和３年 ６月１日
20B	株式会社アイテックス	介護事業所・保健指導実施機関・医療機関等向けシステムの開発・販売・サポートなど	令和４年 ７月１８日
20D	エムケイディ合同会社	医療・介護用等のためのアプリ・Web システム開発	令和２年 １１月１日

○ FROM 香川一般研究室等入居状況（19 室中 19 室入居）

研究室名	研究グループ名 (研究代表/使用責任者)	研究テーマ	入居研究機関	入居年月日
メカトロ研究室	マイクロ加工研究グループ (香川大学 高尾英邦／寺尾京平)	D X 化による知の協創を目指したマイクロデバイスの共同開発研究	香川大学微細構造デバイス総合研究センター 香川大学創造工学部 香川大学医学部 香川大学農学部 京都大学 岡山県立大学 香川高等専門学校 徳島大学 アオイ電子株式会社 株式会社レクザム 四国化成工業株式会社 産業技術総合研究所	令和５年 10月１日
バイオ研究室	低分子糖脂質研究開発グループ (自然免疫制御技術研究組合 杉源一郎／稲川裕之)	健康・長寿を志向した低分子糖脂質製造法の開発と応用	自然免疫制御技術研究組合 香川大学農学部 徳島文理大学 新潟大学研究 自然免疫応用技研株式会社 特定非営利活動法人自然免疫ネットワーク	令和５年 ８月１日
一般研究室 (1 a)	新規糖加水分解酵素開発グループ (香川大学 中北慎一／株式会社伏見製薬所 住吉渉)	新規糖加水分解酵素の研究開発	香川大学医学部総合生命科学講座 九州大学大学院農学研究院 株式会社伏見製薬所	令和５年 ９月１日
一般研究室 (1 b)				
一般研究室 (1 c)	A I ロボット共同研究グループ(株式会社未来機械 三宅徹／森田和郎)	A I を活用したロボスタ性の高い自律制御ロボットの研究開発	香川大学創造工学部 株式会社未来機械 香川高等専門学校	令和３年 ７月１日

一般研究室 (2 a)	植物生体情報センシング共同研究グループ (香川大学下川房男／同上)	スマート農業を変革する植物生体情報センシング技術の開発	香川大学イノベーションデザイン研究所 香川大学農学部 株式会社小松精機工作所	令和6年 4月1日
一般研究室 (2 b)				
一般研究室 (4 a)				
一般研究室 (2 c)	胎児 well-being 自動診断システム開発研究会 (香川大学 原量宏／同上)	IoT・クラウド上で稼働する胎児 well-being の自動診断システムの開発研究	香川大学医学部 埼玉医科大学 メロディ・インターナショナル株式会社 ニプロ株式会社 特定非営利活動法人 e-HC I K	令和6年 9月1日
一般研究室 (3 a)	糖鎖構造解析キット開発グループ (香川大学 中北慎一／株式会社伏見製薬所 住吉渉)	糖鎖構造解析キットの開発	香川大学医学部総合生命科学講座 株式会社伏見製薬所	令和5年 3月1日
一般研究室 (3 b)				
一般研究室 (3 c)				
一般研究室 (4 b)	クラウド型ガス可視化システム共同研究グループ (株式会社 Soilook 西藤翼／同上)	クラウド型ガス漏洩可視化カメラシステムの研究開発	株式会社 Soilook 株式会社未来機械 関西学院大学 香川大学創造工学部 徳島大学理工学部 東邦大学理学部	令和6年 4月1日
一般研究室 (4 c)				
一般研究室 (5 a)	海苔成分の生理機能開発共同研究グループ (有限会社シーバイオン 岡崎勝一郎／株式会社ハマダフードシステム 蓮井昌彦)	海苔成分の生理機能開発	香川大学農学部 有限会社シーバイオン 株式会社ハマダフードシステム	令和3年 4月1日
一般研究室 (5 b)	天然物質によるウイルス制御共同研究グループ (香川大学 桑原知巳／小山一)	天然物由来抗ウイルス物質の探索とその実用化に向けた研究	香川大学医学部 富士産業株式会社 和歌山県立医科大学看護学部	令和4年 4月1日

一 般 研究室 (5c)	COVID-19等新興・ 再興感染症に関する 開発研究グループ (株式会社バキュロ テクノロジーズ 馬 嶋景／同上)	COVID-19等の 新興感染症やデ ング熱等の再興 感染症の対策と してカイコを用 いた遺伝子組換 えワクチンを開 発	株式会社バキュロテ クノロジーズ 山口大学農学部 有限会社根路銘生物資 源研究所 岡山理科大学獣医学部	令和3年 4月1日
産学官連 携推進室 (応接室 を含む)	公益財団法人かがわ 産業支援財団(理事 長 近藤清志／技術 振興部長 窪田健康)	研究開発支援及 び産学官連携推 進にかかる事業 推進	—	平成24年 4月1日

(2) FROM 香川共同機器室及びバイオ関連共同実験室
利用状況

- ・共同機器室：46 件
- ・バイオ関連共同実験室：7 件

(3) ネクスト香川EMC総合試験施設管理運営
EMC総合試験施設使用状況 稼働率：94.4%

区 分	利用企業数	利用時間（実日数）	
		大型電波暗室	小型電波暗室
県内企業	9 社	221 時間（28 日）	769 時間（102 日）
県外企業	22 社	1,486 時間（172 日）	432 時間（56 日）
合 計	31 社	1,707 時間（200 日）	1,201 時間（158 日）

(4) かがわEMC技術研究会事業

区分	内容等
EMC研究会	○ 開催日時 令和6年6月12日 13時30分～16時00分 ○ 開催場所 香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室 ○ テーマ等 ・ 令和5年度事業報告並びに令和6年度事業計画 ・ 講演「電気と電線月ウサギ」 岡山大学名誉教授 古賀 隆治 氏(かがわEMC技術研究会会長) ・ 講演「自動運転を支えるEMC設計評価技術」 京都大学名誉教授 和田 修己 氏 ○ 参加者数(会員他) 59名
EMC講習会	○ 開催日時 令和6年11月21日 13時30分～16時00分 ○ 開催場所 香川県産業技術センター 3階 研修室 ○ テーマ等 ・ 講演「基礎からのEMC設計—回路とケーブルのグラウンド」 京都大学名誉教授 和田 修己 氏(かがわEMC技術研究会会長) ・ 講演「回路シミュレータを用いたノイズ対策の概要」 ウルト・エレクトロニクス・ジャパン株式会社 廣田 大輔 氏 ・ 講演「ノイズ源特定ツールを用いたノイズ対策の概要」 星和電機株式会社 梶田 陽太郎 氏 ○ 参加者数(会員他) 55名

V 新かがわ中小企業応援基金等を活用した新産業の創出、地域産業の革新等のための支援事業

新かがわ中小企業応援ファンド等事業（県補他）

94,886 千円

独立行政法人中小企業基盤整備機構、香川県、金融機関及び当財団が資金を拠出した総額 118.5 億円の「新かがわ中小企業応援ファンド」などを活用して、県内中小企業等の新事業展開や研究開発、販路開拓、人材育成等の取組みを支援した。

1 助成事業の状況

（１）令和 6 年度助成事業の募集期間

令和 5 年 12 月 8 日～令和 6 年 2 月 15 日

（２）事業件数

継 続 【10 件、助成額 9,134 千円】

新規採択 【53 件（うち 2 件廃止）、助成額 36,100 千円】

区分	継続	令和 6 年度新規	
		申請件数	採択件数
① 新分野等チャレンジ支援事業	6	30	9
② 競争力強化研究開発支援事業	2	26	9 (うち 1 件廃止)
③ 成長促進研究開発支援事業	—	8	3
④ 農商工連携支援事業	2	—	—
⑤ 地域資源活用輸出商品開発支援事業	—	10	5
⑥ 国内見本市出展・オンライン販路開拓支援事業	—	35	20
⑦ 海外見本市出展支援事業	—	13	7 (うち 1 件廃止)
合計	10	122	53 (うち 2 件廃止)

（３）助成事業の詳細

① 新分野等チャレンジ支援事業

県内中小企業等が取り組む新分野進出のための商品・技術開発や、市場性を見極めるための試作品作成、付加価値の高い新製品開発のための実証実験などに対して支援を行った。

ア 継続 【6 件、助成額 4,669 千円】

事業名	事業者
水圧式多目的段差解消機（水中リフト仕様）開発	株式会社 A D S ムラカミ
「組み込み A I 画像処理ユニット」の商品化	株式会社 エスシーエー
にがりを使った香りを有する入浴剤の商品開発	仁尾興産株式会社

こんにゃく素材(マンナンミール)にオリーブ葉エキス、希少糖を添加した機能性表示食品の開発	ハイスキー食品工業株式会社
希少糖を含有させた冷凍弁当やレトルトカレーなどの新商品の開発	株式会社ボスコフードサービス
紙糸を使った紙袋用の組み紐タイプの丸紐（とって）の開発	松浦産業株式会社

イ 新規採択 【9件、助成額 6,793 千円】

事業名	事業者
国産麦芽の多品種少量生産に関する可能性評価	株式会社高畑精麦
発酵無、グルテンフリーの腸活 丸パンミックス	中野産業株式会社
災害避難所用段ボール製品の開発	株式会社 FUJIDAN
ハンディキャップを持つ人の生活を豊かにする商品開発と普及	株式会社レガン
理論振動解析や精度評価技術の導入による自社製品コア部品の高効率・高精度加工技術開発と本格的な内製化の実現	讃光工業株式会社
血液凝固線溶系の異常の実態とDICの新規治療法を探索する研究事業	有限会社四国動物医療センター
BMXフリースタイル・フラットランド競技用床面の開発事業	株式会社都村製作所
三次元空間を活用した現場DXサービスの提供	日東河川工業株式会社
災害に強い医療情報連携が可能な産婦人科向けクラウド電子カルテシステムのサービス提供	株式会社ミトラ

② 競争力強化研究開発支援事業

県内中小企業等が取り組む付加価値の高い新製品の製品化や、新技術確立のための研究開発等に対して支援を行った。

ア 継続 【2件、助成額 4,111 千円】

事業名	事業者
武道着クリーニングによる新たな市場開拓	株式会社白洋舎
新規形態安定加工技術を用いたアパレル製品の研究開発	株式会社ワイケーエス

イ 新規採択 【9件（うち1件廃止）、助成額 9,713 千円】

事業名	事業者
一般枠	プリズムを利用したイメージセンサのスペックを超えるカメラ開発
	株式会社シーマイクロ
	ドライ方式による有用資源回収装置の商品化
	四国アセチレン工業株式会社

一般 枠	破棄されている規格外フルーツを人気上昇中の発酵飲料へアップサイクル	株式会社 Japan Fruits 【廃止】
	サステナブルな超微細ハニカムセラミックス部材の開発	株式会社長峰製作所
	複合構成の電磁波吸収シートの開発	株式会社フジコー
	A I を活用したロバスト性の高い自律制御ロボットの研究開発	株式会社未来機械
農 商 工 枠	オリーブ葉の効率的な収穫と微粉末化による多様な食品への販路開拓	株式会社オキオリーブ
	伊吹島産サツマイモ「イブキホワイト」®を使用した新たなスイーツ「カタラーナ」等の開発と販路拡大	Zion 高松合同会社
	香川県産「いりこ」を活用した美味しく多様な「いりこご飯」具材の開発	株式会社ニッショー

③ 成長促進研究開発支援事業

県内中小企業等が取り組む、中長期の研究期間を要し、競合他社と異なる新たな価値を創造する革新的な技術や製品の研究開発等に対して支援を行った。

新規採択 【3件、助成額 2,720 千円】

事業名	事業者
糖化・発酵技術を用いたバイオエタノール等の製造システムにおける研究開発	株式会社富士クリーン
香川県産広葉樹を機材とする高級木箸の製造に向けた、県産広葉樹の木取・乾燥・加工方法の研究開発とサプライチェーン構築および販路開拓	株式会社 Bo Project.
パーティクル削減用の高圧液フィルターの技術開発	株式会社レクザム

④ 農商工連携支援事業

県内中小企業等が農林漁業者と連携し、互いの経営資源や先端技術等を活用して行う新商品・新サービスの開発等に対して支援を行った。

継続 【2件、助成額 354 千円】

事業名	事業者
無人航空機（ドローン）を活用した鳥害対策の取り組みと実証及び操縦者の育成	田辺テクニカルサポート株式会社
オリーブ酵母と小豆島産イチゴを活用したワインの新商品開発と販路拡大	224 ワイナリー株式会社

⑤ 地域資源活用輸出商品開発支援事業

地域の資源を活用した海外市場向け輸出商品の開発及び戦略的な情報発信等による海外販路拡大のための実効性のある新たな取組みに対して支援を行った。

新規採択 【5 件、助成額 6,570 千円】

事業名	事業者
庵治石の魅力を世界に発信し、新たな価値創造に貢献する	株式会社蒼島
「ハーフ dip バウムクーヘン」開発及び販路開拓	株式会社エフディアイ
海外市場に向けた高付加価値商品・『オリーブサーモンと瀬戸内レモンを使用した塩麹漬け』の開発と販売を目指す	株式会社瀬戸水産
日本が誇る小豆島の手延べそうめんをバンコクへ	有限会社フモト
瀬戸内の「香川県産ブランド海産物」を海外に送り出す輸出商品の研究	株式会社八栗

⑥ 国内見本市出展・オンライン販路開拓支援事業

県内中小企業等の国内見本市・WEB 見本市（国内・海外）等への出展、EC サイトやオンライン商談システム等の構築等による販路開拓に対して支援を行った。

新規採択 【20 件、助成額 5,781 千円】

事業名	事業者
「第 98 回 東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2024 LIFE ×DESIGN」出展	アーバン工芸株式会社
グローバル商品による販路開拓のための展示会出展	株式会社エフディアイ
「さぬきオリーブ酵母清酒」の認知度向上並びに需要促進のための展示会出展	香川県酒造協同組合
PELLE:k（ペレック）：新規開拓向け展示会 出展	株式会社クロダ
コロナ後の変化・進化する小売店への青果物の販路開拓及びリサーチのための「フードストアソリューションズフェア 2024」出展	株式会社讃岐富士農産
「製造業向けDX化支援ソリューション Web パーツシステム」の販路拡大のための展示会出展	株式会社ジョーソンドキュメンツ
保育博 2024 出展	株式会社セントレディス
『あらん』でハルメク	有限会社高島産業
『第 11 回 CareTEX 東京』ケアフード展出展	宝食品株式会社
「第 36 回 グルメショー秋 2024」出展	有限会社筒井製菓
初生雛雌雄鑑別 AI システムの国内展示会出展	有限会社電マーク
第 51 回国際福祉機器展 H. C. R 2024 出展	徳武産業株式会社
次世代こんにやく加工食品「マンナンミール」の販路開拓のための展示会出展	ハイスキー食品工業株式会社
「人とくるまのテクノロジー展 2024 YOKOHAMA」出展 試験片抜き刃～新たなる業界への挑戦～	株式会社ハガタ屋

新規開発化粧品・医薬部外品原料の知名度向上と販売促進を目指した展示会出展	株式会社伏見製薬所
『食の魅力』発見商談会 2024 出展	丸金食品株式会社
「讃岐もち麦ダイシモチ及び加工品」販路開拓のための展示会出展	株式会社まんでがん
新商品【Brown rice cup】の販路開拓のための自社E Cサイトおよびそれと連携する日/英語対応のHPの製作	株式会社もみまる
ビデオ通話を使った『介護用コミュニケーションサービスシステム』の展示会出展用動画・パンフレット制作	株式会社ヤマケンシステムズ（旧 山田電建株式会社）
ウェルネスフードジャパン 2024 出展による健康食品市場への販路開拓	吉原食糧株式会社

⑦ 海外見本市出展支援事業

県内中小企業等の海外市場での販路開拓を支援するため、海外で開催される国際見本市等への出展に対して支援を行った。

新規採択 【7 件（うち 1 件廃止）、助成額 4,523 千円】

事業名	事業者
国産小麦を原料とした乾麺の海外販路拡大のための高級食品見本市「Winter Fancy Food Show 2025」出展	石丸製麺株式会社
ドイツ VISION 展出展	株式会社シーマイクロ
『FOOD TAIPEI 第 34 回台北国際食品見本市』へ出展	宝食品株式会社
アメリカ市場における、日本米のグルテンフリー菓子の販路開拓のための「2025 Winter Fancy Food Show」出展	株式会社禾【廃止】
建設業界向け墨出しロボットの海外販路開拓（欧州市場）のための『INTERGEO2024』出展	株式会社未来機械
瀬戸内で活躍する現代アーティスト作品の海外展開事業	株式会社瀬戸内アートコレクティブ
呼吸センサ（SuuHaa）の海外出展事業	株式会社モーリス

2 産業支援機関事業（財団直営事業を含む。）の状況

① 高度産業人材育成事業

分野	実施講座数	受講者数（延べ）
次世代ものづくり技術研修	3	34 名
I T 技術研修	3	18 名
I T 研修	10	90 名

② 地域企業国内販路開拓支援事業

事業名	実績	件数等
発注開拓支援事業	大手企業出身者（経営支援NPOクラブ会員）の人脈及び経験を活用し、発注案件の発掘や情報収集を行った。 ・発注案件の探索及び紹介件数 14件 ・窓口の紹介や商談機会の創出件数 36件 ・展示商談会の開催支援件数 3件	53 件
	個別商談会の開催 ① 株式会社クボタ（大阪府） ・開催日 令和6年7月26日 ・参加者数 県内受注企業2社 ② オカネツ工業株式会社（岡山県） ・開催日 令和6年8月7日 ・参加者数 県内受注企業2社	2 回
食品商談会開催事業	【食品商談会】 大都市圏等県外の食品関連バイヤー、及び県内の食品関連バイヤーを招聘し、県内食品事業者との商談会を開催した。 ・開催日 令和6年9月12日 ・開催場所 JRホテルクレメント高松 ・招聘バイヤー 39社（百貨店、総合スーパー他） ・参加企業 54社 ・商談件数 345件、商談成立35件 ・商談成約見込 75件 ・商談継続 208件	1 回
国内食品見本市出展事業	【スーパーマーケット・トレードショー】 香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市である「第59回スーパーマーケット・トレードショー2025」に、香川県ブース（17小間）を出展した。 ・開催日 令和7年2月12日～14日 ・開催場所 幕張メッセ全館 ・出展者数 県内30者	1 回

③ 地域企業海外販路開拓支援事業

事業名	内容	件数等
国際取引支援事業	【国際取引相談】 国際取引支援アドバイザーを配置し、相談会の開催等により、県内企業等の国際取引相談に対応するとともに、課題・ニーズの把握を行った。	個別相談 18件
	【国際取引支援アドバイザー】 久保AD：食品部門、輸出入業務（県内在住） 座間AD：化学、情報通信部門、輸出入業務（県外在住）	国際取引支援 アドバイザー 2名配置

④ 地域資源販路拡大支援事業

事業名	内容
かがわ魅力発見事業	【販路開拓支援事業】 商品開発や販路開拓に不慣れな地場産品を扱う県内企業に対し、ブランディングの重要性、販路設計・コミュニケーション戦略等について学ぶことができる講座を開催した。また、講座受講者の中から成績優秀者に展示会出展を支援した。 委託事業者：株式会社中川政七商店 ① 講座開催 第1回 令和6年8月22日 「経営戦略を立てる」 第2回 令和6年9月19日 「ブランドをつくる」 第3回 令和6年10月17日 「商品をつくる」 開催場所：第1回 RIST かがわ 第2・3回 香川県産業技術センター研修室 参加事業者：16社25名 ② 展示会出展 展示会名：大日本市 開催期間：令和7年2月12日～2月14日 開催場所：EBiS303（東京都渋谷区恵比寿） 参加企業：4社（株式会社紙工芸やまだ、株式会社川口屋漆器店、くろか合同会社、合同会社higoto） 全体出展者数：100ブランド

マーケティング支援事業	地域の資源を活用した商品の更なる販路拡大を図るため、消費者の多い関西圏都市部でのテスト販売により、自社商品に合致するターゲット顧客の選定や商品改良に繋がる消費者ニーズの集積及び専門家からのフィードバックを行った。 事業期間 令和6年4月～令和7年1月 参加事業者 株式会社 Araki、さぬきクラフト合同会社、服部水産有限会社 委託事業者 トータルフードラボ株式会社 対象商品 県内中小企業者が販売する、香川の地域性を生かした一般消費者向けの自社の商品のうち、一次産品を除く「加工食品・酒類・飲料」 テスト販売期間・販売店舗 【夏期】期 間 令和6年7月1日～8月31日 販売店舗 きしな屋大阪せんば店（大阪市中央区） 【秋期】期 間 令和6年11月27日～12月3日 販売店舗 きしな屋あべのハルカス店（大阪市阿倍野区）
地域資源コーディネート事業	コーディネーター2名を配置し、新かがわ中小企業応援ファンド等事業（地域資源活用輸出商品開発支援事業）等の幅広い利用促進、シーズの発掘等を行った。

⑤ 新規発掘・事業化コーディネート事業

専任コーディネーター等を配置し、積極的な中小企業回りを通じて、新たなシーズの発掘や事業化の支援、事業終了後のフォローアップ、成果検証等を行った。

⑥ 成果事例集

新かがわ中小企業応援ファンド等事業を活用した数多くの事例の中から、優れた成果を挙げた、又は今後の成果が期待される事例を支援メニューごとに広く紹介し、県内中小企業者等の今後の事業展開の参考としてもらうため成果事例集を作成した。

発行時期：令和6年12月

発行部数：2,500部

配布先：県、市町、県内の商工会議所及び商工会、県中小企業団体中央会、金融機関等

収益事業

1 産業会館事務室提供事業

2,439 千円

産業会館 5 階に所有するスペースを、公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会及び一般財団法人消防試験研究センター香川県支部に対し、賃貸した。

その他の事業（相互扶助等事業）

1 異業種交流事業

2,257 千円

(1) かがわ産業振興クラブ運営事業

知事との意見交換会や、セミナー、見学会を開催するとともに、機関誌やメールマガジン等により産業情報の提供を行った。

事業内容	開催日	参加者数
知事との意見交換会	令和 6 年 10 月 29 日	43 名
見学会	令和 6 年 12 月 6 日	30 名
セミナー（オンライン配信あり）	令和 7 年 1 月 27 日	105 名 ※オンライン視聴 46 名を含む

(2) 異業種交流等への支援

各種団体の事務局として当該団体の活動を支援した。

団体名	団体概要	活動内容
香川マルチメディア ビジネスフォーラム (会員数 26)	I T を活用した経営の向上や新たな ビジネスの創出を図るとともに、会 員企業の交流を促進し、本県産業の 振興に寄与することを目的として設 立された団体	○総会・特別講演会・交流会 ○セミナー ○先進企業等視察研修会 ○自主活動 ○会員間の情報交換 等
香川県デザイン協会 (会員数 58)	県内におけるデザイン振興の中核と して、優れたデザインが生み出され る環境づくりや、産業界等との連携 による産業及び地域文化の発展を図 るため、県内デザイナー等により設 立された団体	○理事会・総会 ○学生表彰 ○瀬戸内デザイングランプリ ○四国デザインフュージョン 等
さぬきプラザ 21 (会員数 17)	技術・市場関連の問題等に関する意 見・情報の交換により、会員企業の技 術及び経営力の向上を図るため、県 内企業等で構成された異業種交流の 団体	○総会・交流会 ○講演会 ○先進企業等視察研修会 ○会員間の情報交換 等
かがわプラザ 2004 (会員数 33)		
J S 研究会 (会員数 32)	県内企業等の自立化推進や人材育 成・経営基盤の強化等を研究するた め、県内のものづくり系企業で組織 された団体	○総会・交流会 ○講演会 ○人材育成研修 等
香川インテリジェン トパーク交流推進協 議会 (会員数 41)	香川インテリジェントパーク (K I P) に立地する企業等の理解、交流及 び情報交換を推進し、相互の技術、経 営及び学術、文化の向上を図るため に設立された団体	○総会 ○会員間の情報交換 ○香川インテリジェントパー クの一斉清掃 ○献血 等

2 香川県発明協会事務運営事業

1,012 千円

一般社団法人香川県発明協会の事務運営業務を受託し、事務運営に係る業務を適正に実施した。

法人会計

1 一般管理運営事業

89,357 千円

財団運営の全般的管理を行うとともに、理事会及び評議員会の開催、基金等運用収入の確保等により財団事業の円滑実施に努めた。

(1) 評議員会の開催状況

回次	開催日	開催場所等	議題
第 58 回	令和 6 年 5 月 1 日	持ち回り	1 評議員の選任について 2 理事の選任について
第 59 回	令和 6 年 5 月 1 日	持ち回り	1 評議員の選任について
第 60 回	令和 6 年 6 月 28 日	高松国際ホテル	1 監事の選任について
第 61 回	令和 6 年 7 月 26 日	持ち回り	1 理事の選任について

(2) 理事会の開催状況

回次	開催日	開催場所等	議題
第 120 回	令和 6 年 6 月 6 日	香川産業頭脳化センタービル 2 階 一般研修室	1 令和 5 年度事業報告及び収支決算について 2 令和 5 年度資金運用実績について 3 評議員会の招集について
第 121 回	令和 6 年 8 月 9 日	持ち回り	1 副理事長の選定について
第 122 回	令和 7 年 2 月 28 日	香川産業頭脳化センタービル 2 階 一般研修室	1 令和 6 年度収支補正予算について 2 令和 7 年度資金運用計画について 3 令和 7 年度事業計画及び収支予算について 4 規程等の一部改正について 5 常勤理事の報酬について